

国葬に参加された全員が「同感だ！」と言われるだろう。

様々な役割は外務省、JICA等の職員が多くを占めていた。

その中で、際立ってきびきびした態度で役割を果たしていたのは若い自衛官の皆さんだ。黒

服の外務省関係の若者たちの、参加者を苦笑させる不手際振りは目に余るものだった。

あの酷さは、参加者全員の目に焼き付いている。

JICAは協力隊員を募集している。

無責任に若者を美辞麗句で集めて、未来を担える育成を現状のJICAには出来ない。

真面な指導者さえも居ないだろう。

恥を晒した国葬時の無様振りを顧みてはいかがが？

2022年10月26日 小田兼利

※訂正して改めて批判します。

国葬時の会場運営について「外務省の不手際」と、酷く批判しましたが、

正しくは「官邸主導で各省庁の協力を仰いで施行した」そうです。

外務省だけの不手際では無く、政府全体の幼稚極まる不手際でした。

暴れん坊将軍時代なら、恥を重んじて監督指示した幹部は、切腹して責任を執ったでしょう。

今の公務員に「無能」「恥」「責任を執る」と言う言葉は無いようですね？

2022年10月30日 小田兼利